



佐賀市立金立小学校 学校便り 第 52 号 最終号

# きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和 6 年 3 月 2 2 日 発行 文責 校長 副島 和久

## 令和5年度、ありがとうございました！

## 来年度も金立小学校を応援よろしくお願ひします！



学校 HP もご覧ください

本日は修了式です。今年度も一年間、金立小学校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。今年度は、新型コロナウイルス5類移行を受けて、多くの学校行事、地域との連携行事がこれまで通りに開催することができ、充実した一年となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、金立小学校の学校運営にご理解・ご協力をいただき、温かな応援をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

金立町ふれあい運動会は地域との合同開催として、前年度よりもさらに内容を充実させて、これからの合同開催の在り方を提案できたのではないかと考えています。また、金立町少年の主張大会や金立郷土かるた大会など、金立町青少年健全育成会や金立まちづくり協議会子ども育成部会が主催し、金立小学校も全面的に協力する形での開催が定着しつつあり、これからの学校と地域の連携モデルを見ていただけたのではないかと考えています。また、ふれあい文化祭、地域のみなさんありがとう集会などの行事にも保護者の方や地域の方の温かな協力をいただくことができました。また、日々の教育活動においても、毎月の読み聞かせや昔遊び体験、芋づくりやミシンボランティア、かけ算九九のボランティアなどに御支援いただきました。そして何より、毎朝の登校時には、雨の日も風の日も子どもたちの安全を見守り、明るく声をかけていただきました交通指導員、見守りボランティアの皆様のご苦勞に心から感謝申し上げます。

先日第 77 回卒業証書授与式では、本校を巣立つ卒業生の姿を見ていただき、多くの方からお褒めの言葉をいただきました。今年度は、これまで通りに地域の方に幅広くご案内を差し上げ、学校運営協議会の委員の皆様をはじめ、たくさんの方に卒業生の門出を祝っていただきました。残念ながら、インフルエンザのために、当日の式に参加できなかった子どもたちもおりましたが、参加できなかった卒業生につきましては、21日(木)の午後から、本校体育館で卒業証書授与式を行いました。11名の子どもたちが、15日の式と同様に、堂々とした姿を見せてくれ、大変嬉しく思いました。



このように、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をいただき、充実した令和5年度を終え、本日、無事に修了式を迎えることができました。学校教職員一同、心から御礼申し上げます。

令和6年度の金立小学校のスローガンは「さらに前進」です。令和6年度も新しい体制でさらに頑張っていきたいと思っておりますので、引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力を何卒よろしくお願いいたします。今年度はどうもありがとうございました。



## 修了式を行いました！

6年生が卒業し、少し寂しい中でしたが、3月22日(金)に令和5年度の修了式を行いました。児童代表の5年生 池田 帆那 さんに修了証書を手渡しました。金立小学校での学びを深め、一つの節目を迎えた子どもたちに心から「おめでとう」のエールを送りたいと思います。

通知表に込められた担任の先生のおいをご家庭でもお読み取りいただき、ぜひ新しい学年へのステップにしていだければと思います。

修了式では、校長として、卒業式に続き、本校の校歌の話をしました。以下は、子どもたちに話した概要です。



(前略) 私からは、皆さんがいつも歌っている校歌についてのお話をしたいと思います。

校歌というのは不思議な歌で、誰もが歌うわけではありません。金立小学校の校歌を歌うのは、金立小学校の子どもたちや卒業生、それに金立小学校に関わった人たちだけですよね。「金立小学校の子どもたちはこのように育てほしい」という願いや思いが込められた歌詞にすてきな音楽(旋律=メロディー)が付けられて「歌」となります。歌詞に込められた思いについては、そのいくつかを卒業式の式辞の中でもお話をしました。おぼえていますか。

今日はこの歌詞に付けられた音楽(旋律=メロディー)の話します。

実は、私も校歌を作曲したことがあります。現在の嬉野市立轟小学校(当時は嬉野町立)という学校の校歌です。私が初めて教師となり、嬉野中学校で音楽の先生を始めた頃に、この小学校は新しくできました。この小学校ができることで、なくなる不動山小学校の先生たちがみんなで作られた歌詞に作曲をしました。金立小の校歌の歌詞にも負けないくらいすてきな歌詞でした。

そのときに、「どんなメロディーにしようかな?」「どんなリズムにしようかな?」と思い悩んで、何度も何度も歌詞を読み返したり、歌詞に書かれている場所を実際に訪ねてみたりしたことを懐かしく思い出します。

このように、歌詞に込められた願いや思いと同じように、音楽にもたくさんの願いが込められていることをぜひ知っておいてください。

金立小学校の校歌はいきなり、シンコペーション(タタータ)と呼ばれるリズムで始まります。それから、付点のリズム(小学校ではタッカのリズムと教わることもあります)がたくさん使われています。シンコペーションのリズムや付点のリズムは楽しい気持ちや生き生きとした感じを表すときによく使いますので、皆さんが校歌を歌うときも、そのことを知っている、体がリズムを感じて自然に動いたり、歌声がより生き生きなったりすると思いますよ。

それから、金立小学校の校歌は4分の2拍子の部分と4分の4拍子の部分があります。

2拍子は「1,2,1,2…」と行進曲のような元気よさや勇ましさがあります。それに比べて4拍子は包み込むようなおおらかさや豊かさが感じられます。その対比(コントラスト)がとてもすてきだと思います。「明るく元気で、そして、やさしい金立っ子」を表していると思っております。

よさは、他にもまだまだたくさんありますが、これから皆さんが歌う校歌は、これまで以上に思いのこもった歌になると思います。ぜひ、歌に込められている思いを新しい学年でも体現してほしいと思います。

4月8日の始業式で、ぜひ元気な姿を見せてくださいね。

本日、辞任式で 8名の先生方とお別れをすることになりました。辞任される先生方の紹介については別添のプリントの通りです。在籍の長短はありますが、それぞれに大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。転退職される皆様の今後のご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げます。

